



●セット内容

- 栽培ポット (素材:古紙 100%)
- 種
- 培養土・鉢底シート

	四つ葉のクローバー	ミニヒマワリ	ワイルdstロベリー
発芽適温	15~25℃	25℃前後	20℃前後
栽培適温	15~25℃	15℃以上	15~20℃
種まきの目安	全粒	約3粒	約20粒
間引き後の目安	間引きなし	1~2本前後	1~2本前後

栽培の流れ



●種まきの準備

- 中身をすべて取り出します。
- 上蓋を受け皿にし、ポットの穴の上に鉢底シートを敷き、培養土を入れます。
- ゆっくりと水を注ぎ、土全体を割り箸などで混ぜて湿らせます。
勢いよく注ぐと土が浮いてきますので注意してください。
- 土の表面を割り箸などで平らにします。

●種まき

- 品種ごとに上表を参照して、種と種が重ならないようにまきます。
周りの土を薄くかぶせて種と土を密着させます。
- 霧吹きなどでやさしく水をやります。

●発芽までの管理

- 発芽するまでは土の表面を乾かさないように管理します。直射日光を避け、栽培に適した明るい場所に置きます。
※土の乾燥を防ぐためにラップなどを軽くかけておくと発芽しやすくなります。
発芽したらすぐにラップを外してください。
- 発芽前と芽が小さなうちは霧吹きなどでやさしく水をやります。

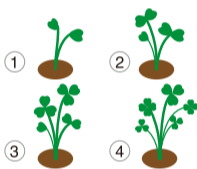
●発芽後の管理

- 発芽したら日当たり(半日以上)と風通しの良い場所に置きます。
- 土の表面が乾いたら水やりをします。栽培ポットと受け皿は古紙でできています。
水のやりすぎに注意して、受け皿に水が溜まったら捨ててください。

四つ葉のクローバー

- 草丈が長く伸びたら根元から1~2cm残して全体を刈り込むと、繰り返し生長を楽しむことができます。

四つ葉になるまで



この栽培キットには、高確率で四つ葉になるクローバーの種を使用しています。はじめはすべて三つ葉ですが、大きく育ち茎の本数が増えるにつれて四つ葉を楽しめる確率が高まります。栽培環境により異なりますが種まきから2~3カ月が四つ葉を楽しめる目安です。
※必ず四つ葉が出てくるとは限りません。予めご了承ください。

ワイルdstロベリー

- 苗同士が混み合いははじめたら、丈夫な苗をすき間があくように1~2本残して他の苗の間引きします。
間引く際は指で根元を押さえてゆっくりと引き抜き、残す苗を傷めないように注意してください。
- 発芽してから実をつけるまで半年以上かかります。
- 花が咲いたら市販の肥料を与えます。

●育て終わったら

- 植物を育て終わったポットは、そのまま土に埋めてください。年月をかけて生分解して土に戻ります。

ECO POINT

1
eco



このポットは古紙 100%の再生紙でできています。

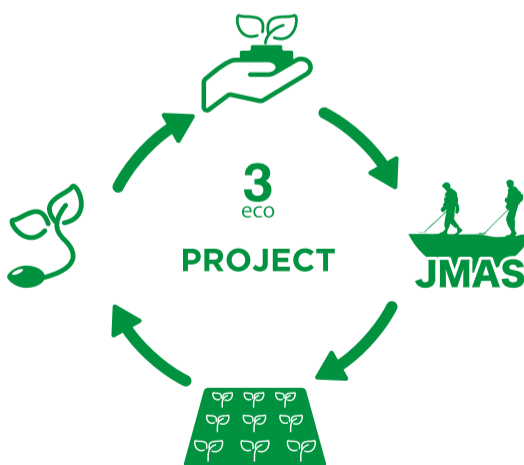
2
eco



使用後はそのまま土に埋めておくと、年月をかけて生分解して土に戻ります。

①栽培キットを購入します。

④新たな植物が誕生します。



②収益の一部は JMAS の地雷・不発弾処理の活動支援にあてられます。

③安全な土地は農地として活用でき、食料・雇用の創出に繋がります。

△注意

- 種や土はお子様やペットの誤飲に注意し、種を食用・飼料用には使用しないでください。
- 本品は古紙を原料にしたポットを使用しています。水の与えすぎや高湿度などの条件が重なると劣化したりポット表面にカビが生えたりすることがありますがポットの品質に問題はありません。素材の風合いを損なわないためには、風通しと日当たりのよい場所でお使いください。
- 器の素材の特性上、シミや傷がつきやすい家具などの上に直接置かないでください。
- 栽培開始前は、直射日光・高温・多湿を避けて涼しい所で保管してください。
- 種まきは真夏・真冬を避け、適温で行ってください。
- 種は 100% 発芽するわけではありません。すべての種が発芽しなくても問題はありません。
- 栽培環境(気象条件・地域・標高)によって生長が異なり、収穫や開花の保証はありません。
- 植物は日光が必要です。窓際や日当たりの良い場所で育ててください。
- クローバーは生育が旺盛なため、庭などに植え替える場合は、他の植物の生長に影響を及ぼすことがあります。